

【大阪支部報告】

オープンキャンパス報告

2025 年度は大阪支部が担当し、6 月 15 日と 8 月 10 日に行いました。それぞれ報告します。

6 月 15 日

中井恵莉(短 15 回生)

2025 年 6 月 15 日(日)、今年度 2 回目となる本校のオープンキャンパスに学友会大阪支部より参加する機会をいただきました。医療職の中でもまだあまり知られていない診療放射線技師という職業に対する理解を深めてもらうことを目的に、各モダリティ 10 分程度のプログラムで高校生とその保護者を対象にミニ講義を行いました。

当日は蒸し暑い中、70 名以上の参加者が集まりました。久しぶりの母校来訪であったため、校舎が増えて集合場所もわからず、移動の際にはスタッフの方々が丁寧に誘導して下さいました。私達は午前中に大学側スタッフと顔合わせ、打ち合わせを行いスケジュールの確認。その後参加者達で賑わう食堂にて昼食をいただき、「在学中に食堂があれば…」などと他の支部員と思い出話に花を咲かせました。

午後になり、教員や在学生による大学紹介からスタート。その後実験室にて大阪支部の出番となりました。診療放射線技師の仕事について CT、MRI、X 線撮影、ポータブル撮影、マンモグラフィの検査の様子を、実際の機器や画像を使って視覚的に紹介しました。皆さん真剣な表情で熱心に聞いて下さいました。また、女性技師として働いている実情についてもお話させていただきました。私は現在、病院でフルタイム勤務しながら育児と両立している立場でもあるため、夜診や当直への対応について、育児休暇や時短勤務などを活用しやすい環境が整ってきていることを伝えました。出番終了後に学友会室で松尾先生、遠山先生、赤澤先生と反省会を行い近況報告や情報交換を行い無事にオープンキャンパスでの役目を終えました。

オープンキャンパスを通じて、一人でも多くの高校生が診療放射線技師という仕事に興味を持ち、将来の選択肢の一つとして前向きに捉えてくれれば技師としてはうれしい限りです。最後になりましたが、お世話になった教職員・在学生の皆様、一緒に参加して下さいました大阪支部の皆様、応援に駆けつけてくれた辻居理事、この場を借りて深く感謝申し上げます。

<大阪支部スタッフ>高田春彦(短 8 回生)、青木大悟(短 15 回生)、川口弘之(短 15 回生)、中井恵莉(短 15 回生)、河原林 沙也佳(大 11 回生)、玉置 桜(大 12 回生)、中村 さくら(大 14 回生)



8 月 10 日

木島孝之(大 4 回生)

2025 年 8 月 10 日(日)、学友会大阪支部が担当したオープンキャンパスが開催されました。大阪支部より 8 名が参加し、高校生とその保護者を対象に診療放射線技師の魅力・各モダリティの説明を行いました。開催時では①一般撮影/CT/乳房撮影②技師の魅力、学友会の強み/MRI/ポータブル撮影の 2 つの班に分かれ、各々モダリティそれぞれ 8 分程度の講義を行いました。

また私自身が卒業してから約 10 年ぶりの母校来訪であったため、事務局の村上様キャンパスをご案内いただきました。懐かしい学生生活の思い出に浸りながら新しく完成されたキャンパスの綺麗さと充実さに胸を打たれました。

午前中に本学教授の皆様とプログラムの打ち合わせをし、支部員の自己紹介などを含めた顔合わせをおこないました。その後キャンパス



の食堂で昼食をいただき、支部員のかた達との病院間情報共有・学生時の思い出話に花を咲かせました。

午後からは我々大阪支部の出番に向け、各モダリティでの動作チェックや最終確認を行いいざ本番。本講演では、検査の流れや特徴をクイズ形式や紙芝居・独自のプレゼンなどで各モダリティの魅力を大いに伝えさせていただきました。一般撮影では実際の装置に触れていただき、乳房撮影では保護者に模擬患者になってもらうなど参加型の講演に力を入れていました。CT、MRIでは実際に撮影・撮像した画像を視覚的に見てもらい、ポータブル撮影では参加者とコミュニケーションを交わしながら装置に触れていただき、操作方法を説明させていただきました。本番終了後には学友会室で教職員と大阪支部員で慰労会を開催し、病院-大学間での近況報告や情報交換をおこない、無事にオープンキャンパスでの役目を終えました。

我々診療放射線技師に求められるものは装置の操作性はもちろん、『コミュニケーション能力』も重要な能力だと個人的に思っています。今回のような参加型講演を通じて、スタッフ・高校生・保護者とのコミュニケーション共有により、診療放射線技師という世界を存分にお伝えできたのではないかとスタッフ一同存じております。

最後になりますが、今回のオープンキャンパスに向けご準備をいただきました教職員・事務局・在学生の皆様、そして大阪支部の皆様、この場を借りて深く感謝申し上げます。

<大阪支部スタッフ>鈴木量(短1回生)、河野貴幸(大4回生)、眞部あよ(大4回生)、木島孝之(大4回生)、山田彩乃(大10回生)、鵜飼亜咲美(大10回生)、池田晴(大13回生)、盛武花菜里(大13回生)



以上

* 通巻 257 号 2025 年 10 月 10 日発行(2025-No.4)より